



DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

決勝レポート

2025/4/20 Rd-4 モビリティリゾートもてぎ

天候：晴れ 気温：26℃ 出走台数：22 台

観客数：19 日(土)12,000 人 20 日(日)14,000 人 合計 26,000 人

2 レース制で開催される第 2 大会 2 日目 Rd4 モビリティリゾートもてぎ決勝。

日曜日のシリーズ第 4 戦は 37 周(最大 75 分)、タイヤ交換ピットストップウィンドウ規定のないレースフォーマットで開催される。

2 番グリッドスタートの太田選手は素晴らしい加速でポールスタートの山下選手に並びかけるが攻略ならず 2 番手で、牧野選手はポジションキープの 3 番手。このスタート直後、1 コーナーでは接触によるコースアウト車両が発生し、昨日に続いてオープニングラップからセーフティカー（以下 SC）導入となった。ここで太田選手はオープニングラップでピットイン。メカニックのミスない作業で山下選手の前でコースに戻ることに成功し、タイヤ交換グループの首位となる。ステイアウトした牧野選手は、5 周目終了時点で SC がピットインすると、タイヤ交換グループとのタイムマージンを稼ぐべくファステストラップを更新しながらのアタックモードで周回する。

1 分 35 秒台のタイムを維持しながら走る牧野選手だったが、20 周目が近づくとタイムが 36 秒台に落ちてしまう。後ろを走る岩佐選手と、タイヤ交換組首位の太田選手とのタイム差を考え、チームは 23 周目に牧野選手をピットに呼びタイヤ交換を済ませる。

牧野選手はまだタイヤが冷えた状態のピットアウト周、3 台にオーバーテイクを許したが、タイヤが温まるとすぐにそれらを抜き返し、トップ太田、2 番手牧野そして 3 番手に岩佐選手のオーダーでレースは終盤へ。

2 番手牧野選手は太田選手を捉えるべく力走するが、岩佐選手もタイムアップ。

太田選手は首位を守り、牧野選手も岩佐選手を抑え、第 3 戦に続いてワンツーフィニッシュを決めた。

5：牧野任祐 選手 2 位

太田選手が SC 下のオープニングラップでピットに入る選択をしたので、自分としてはステイアウトする戦略をとりました。レース前に様々なシミュレーションを検討したのですが、これである意味迷いがなくなったので、やるべきことに集中して走りました。

僕自身は昨日からの 2 連勝とはなりませんでしたが、チームとして最高の結果だと思います。昨年初優勝した次戦オートポリスでも最高レースをしたいです。

6：太田格之進 選手 優勝

昨日に続いてチームワンツーフィニッシュ、しかも今日は僕が優勝と、最高に嬉しいです。ステイアウト組とのマージンもマネジメントし、完璧な仕事ことができました。

チームの強さをこの後のシーズンでも維持し、チームメイトとバチバチにチャンピオン争いがしたいですね。